

病虫害発生予察指導情報

(ナシ・クワコナカイガラムシ No. 1)

令和元年 5 月 6 日
鳥取県病虫害防除所

1. 情報の内容

クワコナカイガラムシ越冬卵からのふ化開始は、平年より 4 日遅い 5 月 6 日（平年：5 月 2 日）に認められました。昨年、果実被害が多く認められた園では防除を徹底して下さい。

2. 情報の根拠

- (1) クワコナカイガラムシ卵のうからの越冬世代幼虫のふ化*開始は、平年より 4 日遅い 5 月 6 日（平年：5 月 2 日）に認められた。
 - (2) 卵のう内のふ化の様子及び今後の気象経過などから、越冬世代幼虫のふ化最盛日は 5 月 12 日前後（平年：5 月 9 日）と見込まれる。
- *クワコナカイガラムシ越冬卵からのふ化は、百葉箱内（園試）で観察。越冬卵をシャーレ中央に静置し、越冬卵周囲に粘着物質を塗布、その粘着物質に捕獲された幼虫数を計数。

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 昨年被害の多かった園では、必ず 2 回防除を行う。特に、越冬世代は、第 1 世代及び第 2 世代よりふ化時期が揃いやすいので防除を徹底する。
- (2) 昨年度多発した園等では、5～7 日間隔で以下の時期を目安に 2 回の防除を行う。
 - ・ 幼虫ふ化最盛期 5 月 12 ～ 16 日
 - ・ 幼虫ふ化終期 5 月 17 ～ 21 日
- (3) 薬剤はスプラサイド水和剤 1，500 倍液、アブロード水和剤 1，000 倍液などを使用する。
- (4) 薬剤の散布にあたっては、クワコナカイガラムシが集合する枝葉の他、枝の切り口及び粗皮下などに薬剤が十分かかるようにする。
- (5) 農薬の散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守する。